

西播磨地域デザイン会議の検討状況

1 趣 旨

地域ビジョン委員をはじめ幅広い県民の参画を得て、将来の地域デザインを描くワークショップを重ね、最終的に西播磨地域デザイン案をまとめる。

2 参加者

西播磨地域に在住の30代～70代 30名

3 実施時期

令和2年9月～令和3年1月

4 検討経過

毎月1回 計5回のワークショップを通じ、西播磨の課題・魅力の整理、なりたい姿を検討

5 西播磨地域デザイン案の方向性

目標像 1 おせっかい文化が根付く支え合う田舎

〈主な意見〉

- ・西播磨は自然を感じられる一方で、都会的な便利さもある。ある程度便利で自然がある生活がいい。
- ・田舎であることを自慢できる田舎になってほしい。みんなが地域のいいところを3つは言えるまちにしたい。
- ・西播磨の人は温かく人がいい。支え合いの基盤である温かい「おせっかい文化」を受け継ぎ、地域で支え合って生きていくまち。
- ・公助に頼りすぎず共助によって未来を拓く、新しい田舎を目指す。
- ・ご近所や地域のことを大切に考える人が今よりも増えている。
- ・古民家をもっと活用すべき。田舎暮らしに憧れた人の移住を進め、農業、林業が盛んになってほしい。
- ・時間に追われず、物にとらわれず、自分に合ったもので自由に暮らせる、帰りたくなる故郷。

目標像 2 挑戦を受容れる柔軟なまち

〈主な意見〉

- ・時代により変化する価値観に合わせ、慣例や伝統を若者たちに受け入れられるように変えていくことも必要。若者・子育て世代に魅力ある住みやすいまちにしたい。
- ・女性が輝く西播磨へ。「出る杭は打たれるが、出すぎた杭は打たれない」のモットーが根付く、女性が活躍しやすいまちをめざす。
- ・地域も時代に合わせて変革は必要。従来のもを守りつつ、価値観の多様化に合わせて新しいものを取り入れるような寛容さ、チャレンジも大切。
- ・すごいな、おもしろいなをまじめに実現する。“負”と思うものに挑むまちをめざしたい。

目標像 3 みんなで発信“西播磨自慢”

〈主な意見〉

- ・西播磨には魅力的な資源がたくさんある。今あるものを活かし、さらに掘り起こしていくことが必要。
- ・西播磨の地域資源は、歴史的・文化的価値だけでなく、観光資源としても活用する価値が大いにある。

- ・個人も地域もそれぞれが発信力を高め、守りではなく攻めの姿勢で西播磨の魅力を発信していけば、地域外からもっと人を呼び込める。
- ・西播磨が一体となって地域をPRしていくことが大事。
- ・ワーキングホリデーやWWOOF*などを積極的に取り入れ、地域外との交流が盛んになる取組みを進める。 ※ WWOOF (わー)とは、無給で「労働力」を提供する代わりに「食事・宿泊場所」「知識・経験」を提供してもらうボランティアシステム
- ・西播磨には、歴史や風土を背景とした日本遺産や伝統的なまち並み、伝統文化が多く存在する。古き良き西播磨の個性を守りながら、新しい時代にあったまちづくりをめざしていく。

目標像 4 新たな可能性にチャレンジできるまち

〈主な意見〉

- ・多様な生き方が認められ、西播磨発のベンチャー企業が多く誕生している。
- ・ICTの発達により、どこでも働けるようになることで、若者が地域に残り、豊かな自然を活かした事業で新たな雇用を生み出している。
- ・今ある地域資源を活用し、世界に通じるものを生み出し、大企業が拠点を置きたいと思える地域になっている。
- ・ICTを積極的に取り入れた農業で安定した生活を送れる地域。
- ・地域で農業の価値観を高め、自分たちで新たな農業の担い手の育成をしている。

目標像 5 社会課題が解決した暮らしやすいまち

〈主な意見〉

- ・新しい技術や情報をもっと柔軟に受け入れられるまち。
- ・IT技術を活用し、子育てや教育、医療、交通など、生活に不安がなく暮らせる人に優しいまち。
- ・ドローン配送や自動運転技術の積極的な活用など、播磨科学公園都市を核に最先端技術を活用し社会課題が解決した暮らしやすいまち。
- ・IT化により地域格差を埋められ、西播磨から出て行かなくても高度な教育が受けられ、仕事もできるまち。人が出て行かなければ地域ももっと活気づく。
- ・IT技術の発達で地域にあった形の充実した新たな公共交通システムが構築され、大勢の観光客が訪れ経済活動も盛んになっている。

目標像 6 自然と共生したまち

〈主な意見〉

- ・西播磨は、山、森、川、海など豊かな自然に恵まれ、自然災害が少ない魅力がある。
- ・この豊かな自然の恵みを西播磨地域全体で守っていく必要がある。
- ・人と自然が調和し、生き生きと健康で暮らせるまちになってほしい。
- ・豊かな自然の中で、大地の恵みを活かしのびのびと子育てしていることが新たな魅力となり、西播磨で子育てする人が増えている。
- ・西播磨は、醤油、味噌、日本酒など発酵食の宝庫。この豊かな食文化を受け継ぎ、発展させていく人材を育てていきたい。
- ・生活に必要な作物を自ら作り、時には狩猟を行い、収穫の喜びを味わう、自給自足の生活ができる地域。
- ・地域ブランドを大切にし、地元の安全で美味しいお米や野菜を地元で消費する環境が持続しているまち。
- ・自然の恵みを活用して、農林水産業でお金を稼げる地域にしたい。地域のブランドを高め大切にしたい。